

NTTテレコン
中国支店ら

生成AIを活用し連携 農政及び鳥獣被害対策DXに向け

NTTテレコン中国支店
(広島市、谷口横治中国支店
長)は、テミクス・グリーン
(東京都港区、古森茂幹社
長、マブリー(兵庫県丹波
市、山口圭司代表取締役、
セールスフォース・ジャパン
(東京都千代田区、小出伸一
社長)と共同で、生成AIを
活用した農政や鳥獣被害対策
DXの実現に向け、島根県大
田市(榎野弘和市長)と協定
書を締結した。

NTTテレコンは、長期に
渡り実施してきたガスや水道

の遠隔検針のIoT技術を活
用し、様々なセンシングに既
存の通信端末を応用してい
る。

近年中山間地域では、農業
従事者・狩猟者の減少・高齢
化に伴い耕作放棄地や野生鳥
獣による農作物・森林被害が
増加傾向にある。これら課題
解決に向けては、行政手続き
のデジタル化推進に加え、生
成AIやIoTなど先端技術
の活用が重要となる。

今回の取組みは、各社が保
有するノウハウ・ソリュー

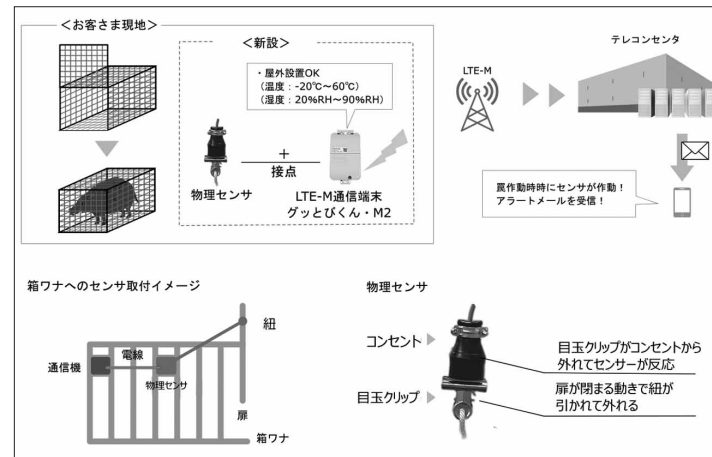
シオンを組み合わせること
で、農政・鳥獣被害対策のデ
ジタルトランスフォーメー
ションを目指すもの。中山間
地域における行政手続や鳥獣
被害対策の高度化、自動化を
通じて、地域の課題解決の実
現を目指す。

4社は大田市と、生成AI
等の活用による農政及び鳥獣
被害対策DXの実現に向け、
▽農政手続のDX▽ドローン
等を活用した鳥獣生息数把握
▽鳥獣被害地の把握▽IoT
罠を活用した鳥獣捕獲▽被害
否について

このなか
でNTTテ
レコンは、
鳥獣被害対
策の箱罠、
くくり罠の
作動検知を
遠隔でも可
能とするた
め、中山間
地域の電波
微弱地帯、
及び電波不
感地帯にお
ける通信可
否について

駆除の報奨金申請DX▽各種
行政手続における生成AI活
用—などの事項に関し、協
力・連携す
る。

電波調査等を行い、適切な通
信端末の選定を行う。



プロパン産業新聞

2025年(令和7年)12月9日(火曜日)